

上毛町の避難所

第1避難所

災害の危険性が切迫している場合、又は既に災害が発生している場合に、最初に開設する避難所です。



新吉富地区

避難施設
げんきの杜

上毛町大字八ツ並
TEL 72-1455



友枝地区

避難施設
上毛町大平支所

上毛町大字東下
TEL 72-2111



唐原地区

避難施設
唐原コミュニティセンター

上毛町大字上唐原
TEL 22-1419

第2避難所

第1避難所開設後、避難者が大人数で第1避難所に収容できない場合、又は災害により避難者が第1避難所までの移動が困難な場合に開設する避難所です。

新吉富地区

避難施設 西吉富コミュニティセンター

上毛町大字緒方 TEL 72-3076

避難施設 南吉富小学校 講堂

上毛町大字垂水 不設置

友枝地区

避難施設 上毛町健康増進施設

上毛町大字東下 TEL 72-3324

唐原地区

避難施設 築上東中学校

上毛町大字下唐原 TEL 72-2014

第3避難所

災害の状況に応じ、開設します。

避難施設 各地区公民館・集会所等

この「一帯」は、上毛町第1次総合計画に描かれるまちの将来像「みんなでひらく上毛」の未来を実現するために取り組んでいる事業など、毎月シリーズで紹介するものです。

Vol 4

「支えあうまち」ひとりひとりがまちの真心

～安全・安心で暮らしやすいまち～

上毛町は、友枝川をはじめ、山国川や佐井川などの水辺の空間、棚田に里山といった恵まれた自然と人が共生しています。また、大分県中津市を中心とした生活圏の中にあり、「自然」「田園」「都市」の3つの良さを兼ねそろえた町ということができます。そのような豊かな生活環境の中で、皆さんがあざと安全・安心で快適に暮らせるように、防災対策をはじめ、適正な土地利用の在り方の検討、定住人口増加に向けた事業など、さまざまな施策を進めています。

皆さんがあざと、移住や定住を考えるとき、どのような場所をイメージし、何を重視しますか？皆さんも一緒に「暮らしやすいまち」について考えてみませんか？

【田園型ライフスタイルの創造・発信と良好な住環境の形成】

まちの空き家実態調査

町は、昨年「定住人口増加に向けた田園型ライフスタイル調査」を行い、皆さんにご参加いただいたワークショップやアンケートで寄せられた意見などを、結果報告書に取りまとめました。その中では、都市住民の価値観やライフスタイルの多様化により、田舎暮らしに対する関心が高まっていることが報告されています。町には豊富な地域資源（＝自然や歴史、郷土料理に特徴的な商品）がバランスよく存在していますので、これらを活用したゆとりある良質な田舎暮らしのイメージを、都市住民に向けて発信していくことが大切となります。

そこで、まずは移住者を受け入れるための仕組みづくりのひとつとして、今年度から空き家を有効活用す

るための事業に取り組んでいます。そのための事業に取り組んでいます。その一環として、8月末から「まちの空き家実態調査」と題して、町内に点在する空き家の現地調査を開始しています。9月末までに各地区的自治会長さんと企画情報課職員が現地を巡回しますので、空き家に関する情報がありましたら、ぜひお寄せください。この空き家の実態調査の結果については、管理台帳を作成し「空き家バンク制度」など、定住促進に向けた事業検討のための資料として役立てていきます。

※空き家バンク制度とは、空き家の情報を所有者等の希望により登録・公開しその所有者等と入居希望者とをマッチングさせるサービスです。

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線122)

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線124)



【防災・消防・救急体制、生活安全対策の充実】

風水害にご注意を

夏から秋にかけては、台風が襲来したり、大雨が発生しやすい季節です。気象庁では災害が起こるおそれのある場合には、「警報」や「注意報」を発表しています。大雨になりそうなときは、テレビやラジオ、インターネットなどから最新の気象情報を入手するように心がけ、早めに窓や雨戸などの家の外の点検もしておきましょう。また、危険な場所には絶対近づかないようにしてください。警報が発表されると、避難勧告や避難指示が発令される場合もあります。避難が必要になったときに備えて、普段から避難場所の確認や非常持ち出し品なども確認しておきましょう。町では、地域の災害に対する備えを強化するため、また、住民の方々が災害時における避難や危険回避の自主的な行動を支援するために「上毛町防災ハザードマップ(保存版)」を作成し、全戸に配布しております。今一度ご確認ください。

●問い合わせ先 総務課総務係 TEL 72-3111(内線112)

風水害の備え

屋内では
風が強いとき
風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。内側からガムテープをメタリックテープを閉めておきましょう。

路上では
路上では
看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるので、近くの建物の中に避難しましょう。ただし、大雨を伴う場合は、地下室等には、逃げ込まないようにしましょう。

海辺では
海への転落や高波、高潮に巻き込まれる危険があります。すぐ高台に避難しましょう。

車の運転中は
豪雨で視界が悪く、操作ができなくなることがあります。水が少ない場所を選び、ゆっくりと高台に避難しましょう。浸水でエンストしたときは、無理な再始動はやめましょう。

水辺では
急な増水や土砂災害の危険があります。川には、近づかず、すぐに避難しましょう。

【土地利用計画の策定について 土地利用のとれた】

国土の利用については、国、県もそれぞれの「国土利用計画」を定め、地域特有の個性に合わせた土地利用を進めており、秩序ある開発や美しい町並みの形成、産業の発展などに努めているところです。町においても、総合計画で町内の土地利用について、大まかなゾーンを図示しており、これを基本として調和の取れた土地利用の推進を行ってきました。

しかし、この図だけでは、将来に向けての目標や方向性には示されていないため、これからは、都市計画法に定められているより具体的な土地利用の計画づくりが求められるようになってきています。このため、今年度から、上毛町土地利用計画の策定に取り組み、町の自然、歴史や文化、産業、住宅等さまざまな条件に配慮して、皆さんのが本当に暮らしやすいと感じることのできる土地利用の姿を描いていきます。

この計画が土地利用のマスター・プランとなり、概ね10年後を目指とした土地利用の在り方、町の発展の方向性を示すものとなります。今後、皆さんからの意見を反映させながら計画を作成していきますので、住みよい地域にするために、どのような土地利用を図つていけばよいかと一緒に考えていくましょう。

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線122)

●問い合わせ先 企画情報課 TEL 72-3111(内線124)

